

清 風

高岡市立高陵中学校
第3学年だより
第9号
令和8年1月8日

希望と感謝の新年に

校長 柿埜 哲男

あけましておめでとうございます。保護者の皆様、そして生徒の皆さん、希望をもって新しい年を迎えたことを、心からうれしく思います。

本年は、能登半島地震の発生から2年となる年です。2年前の元日、午後4時10分の出来事を、私は今もはっきりと覚えています。楽しいはずのお正月の時間が一変し、命や生活について深く考えさせられました。この経験を、私たちは決して風化させてはならないと考えています。

2年前、私が前任校として勤務していた太田小学校では、津波が心配される中、地震直後に学校を避難所として立ち上げ、多くの地域の方が避難生活を送りました。断水が続き大変不安な中でも、互いに声を掛け合い、できることを分け合いながら支え合う姿がありました。その姿から、助け合う心は日ごろの信頼やつながりの中で育まれてきたものだと、強く感じました。当時、高陵小中学校も避難所となり、生徒の中にも、学校で正月を送った人がいたことでしょう。その経験を胸に、私たちは互いを思いやり、支え合う心をこれからも大切にしていきたいと思います。

高陵中学校は「人権の学校」として、互いの立場や気持ちを尊重し、思いやる精神を大切にして、子供たち一人一人が安心して学べる環境づくりに取り組んでいます。地震を通して学んだ助け合いや思いやりの心は、学校づくりや人権教育に深くつながっており、これからもその精神をさらに広げていきたいと考えています。

私は、地震が起きた令和6年に高陵中学校に赴任しました。その年から、施設一体型の小中一貫校の建設が始まり2年、ついに4月から、小学校と中学校が一緒になった新しい高陵小中学校がスタートします。このことは、子供たち、保護者の皆様、地域の方々、そして教職員にとって、大きな希望であり、深い感謝の気持ちを抱かずにはいられません。新しい学校は、小中合わせて約750名の児童・生徒が学ぶ、高岡市で最も大きな学校となります。そして、この学校は、児童・生徒だけでなく、保護者や地域の皆さんと一緒に創り上げていく学校でもあります。学校と地域が互いに関わり、支え合いながら育むことで、子供たちの学びはより豊かになり、地域全体の未来にもつながると信じています。

新校舎には、太陽光発電のシステムが整えられ、体育館は避難所としての機能を備え、非常時にも対応できる非常電源のシステムも導入されます。学びの場であるとともに、地域の命と暮らしを守る拠点となる、大変すばらしい学校です。また、現在進められている旧校舎の改修工事は、1月末に終了し、2月には中学生が新しい環境へ引っ越しを行います。生徒の皆さんには、希望を胸に、新しい学校での学びをしっかりと築いてほしいと思います。そして、2年前の出来事から学んだことを胸に、命を大切にし、仲間と助け合い、思いやる心をもって成長してほしいと願っています。保護者の皆様には、これからも学校とともに、子供たちの学びと成長を支え、地域と学校が一体となった新しい学校づくりにご協力いただければ幸いです。

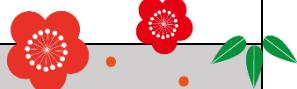
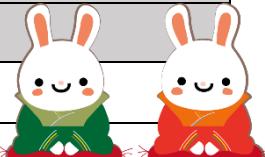
本年も教職員一同、心を一つにして教育活動に取り組んでまいります。そして、4月からスタートする新しい高陵小中学校が、希望にあふれ、感謝の気持ちを大切にし、思いやる心あふれる、地域と共に創り上げる学校となるよう願いを込めて、新年のごあいさつといたします。



新しく誕生する施設一体型小中一貫校

1月予定表

1	木	元日
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	
7	水	
8	木	始業式 書初大会
9	金	実力テスト(社・国・理) 国際大付属 推薦入試
10	土	高岡地区アンサンブルコンテスト 高岡龍谷、高岡向陵、富山第一 推薦入試
11	日	高岡龍谷 通信Ⅰ期入試
12	月	成人の日
13	火	実力テスト(英・数)
14	水	
15	木	
16	金	

17	土	石川工業高専 推薦選抜 高岡第一 推薦入試
18	日	越中万葉かるた大会
19	月	小中アウトドア週間(～23日)
20	火	実力テスト(社・国・理) モップ交換日
21	水	実力テスト(英・数)
22	木	
23	金	
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	
28	水	
29	木	3年保護者会(希望者のみ)※給食後放課
30	金	3年保護者会(希望者のみ)※給食後放課 県立高校推薦入試 志願期間(～2/3正午)
31	土	

新年の抱負



3年間の学びを生かして

3年2組 山下 航

僕の新年の抱負は、「第一志望校合格」です。理由は、人生で初めての自分で選ぶ進路選択を、納得がいくものにしたいからです。しかし今の僕は、志望校に合格できる十分な力があるのか心配に思うことがあります。そこで、この抱負を実現させるには、何をすればよいかを考えるにあたり、自分の中学校3年間を振り返ってみました。

僕は、吹奏楽部に所属していました。課題曲やコンクールに向けて練習をする中で、音量が大きすぎたり、出したい音がうまく出せなかつたりと大きな課題に直面することが時々ありました。そのとき僕は、「うまく演奏するにはどうしたらよいか」と自分で考え練習方法を変えるなど、出したい音が出るまで徹底的に練習しました。それでも解決できないときは友達や先生に相談し、アドバイスをもとに吸う息の量を調整するなどして解決できたことがありました。僕はこの3年間の部活動を通して、「努力」や「困ったときは人に頼る重要性」を学びました。

またこの3年間、合唱コンクールではクラスの伴奏者を務めました。本格的に合唱練習が始まる時に、クラスの皆が気持ちよく合唱できるように、夏休み前から家でコツコツ練習を積み重ねました。さらに合唱練習では、クラスの合唱がより良いものになるように曲のテンポや強弱についてアドバイスをしました。そして合唱の質がどんどん向上していく様子を実感し、皆の役に立っていると心から感じました。これらの経験の中で、僕はリーダーとしての「责任感」「誰かのために行動することの大切さ」を学びました。

僕は高陵中の3年間の体験から、「努力」「人に頼る重要性」「誰かのために行動することの大切さ」を学んだことに気づきました。この学びを自分の「自信」につなげ、新年の抱負である「第一志望校合格」を目指したいと思います。さらに、残り2か月の中学校での生活も、4月から始まる新たな環境での生活も後悔のないように過ごしたいと思います。

私立推高校推薦入試に向けて

受験日が近づいてきました。受験票の印刷がまだの場合は、早めにご対応をお願いいたします。
(書類審査のみの受験生も) また、当日の交通手段について、ご家庭でご確認をお願いします。